



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4097 URL http://www.koatsugas.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 弘幸
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理部長 (氏名)大北 隆行 (TEL)06-7711-2572
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	18,119	△3.1	986	△11.3	1,128	△14.9	713	△14.7
28年3月期第1四半期	18,703	0.5	1,112	21.1	1,328	20.3	836	27.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 267百万円(△69.4%) 28年3月期第1四半期 847百万円(△20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	12.91	—
28年3月期第1四半期	15.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	73,481	47,568	63.6
28年3月期	75,905	47,823	61.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 46,780百万円 28年3月期 46,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,500	5.6	2,100	1.4	2,350	0.2	1,450	△0.2	26.08
通期	81,500	6.5	4,700	2.4	5,300	2.8	3,300	6.8	59.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	55,577,526株	28年3月期	55,577,526株
29年3月期1Q	368,284株	28年3月期	366,679株
29年3月期1Q	55,210,045株	28年3月期1Q	55,219,275株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や個人消費の改善に足跡がみられ、中国やアジア新興国の経済の減速等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は181億19万円（前年同期比3.1%減少）、営業利益は9億86百万円（前年同期比11.3%減少）、経常利益は11億28百万円（前年同期比14.9%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億13百万円（前年同期比14.7%減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ガス事業

『溶解アセチレン』は、造船業界及び建設、橋梁など工事向け需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、窒素、炭酸ガスが新規需要先の獲得により増加しましたが、LPガス等の石油系ガスは輸入価格の下落に伴ない販売価格が低下し、売上高は前年同期を下回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資に持ち直しの動きがあり、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、消火装置用容器が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は136億31百万円（前年同期比2.4%減少）、営業利益は9億20百万円（前年同期比8.0%減少）となりました。

② 化成品事業

『接着剤』は、ペガールが新規需要先の獲得により紙用、塗料用、建材用に需要を伸ばし、ペガロックは海外向けの高機能品が弱電分野の市場開拓により増加したものの、仕入商品が中国産低価格品の攻勢により低迷し、売上高はほぼ前年並みとなりました。

『塗料』は、エアゾール製品は前期並みに推移したものの、建築用塗料が改修需要の低迷と天候不順による工事の減少、また、消費増税に備えた需要家による昨年度末からの在庫の積み増しの影響を受けて減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は43億44百万円（前年同期比2.5%減少）、営業利益は3億31百万円（前年同期比5.6%増加）となりました。

③ その他事業

鉄道事業者及びバス事業者向けのLSIカード、海外向けの容器及び光学機器の需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億43百万円（前年同期比47.9%減少）、営業損失は2百万円（前年同期は51百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億23百万円減少して734億81百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、売上債権の減少により前連結会計年度末に比べ18億89百万円減少し、416億60百万円となりました。固定資産は、株式市場の下落により投資有価証券が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ5億33百万円減少し、318億21百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ21億69百万円減少して259億12百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金の減少により前連結会計年度末に比べ38億97百万円減少し、209億82百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ17億28百万円増加し、49億30百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金は増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ2億54百万円減少して475億68百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成28年5月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、従来から定額法を採用している佐倉工場を除き法人税法の改正に伴ない、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,690	14,490
受取手形及び売掛金	21,645	20,485
電子記録債権	1,449	1,848
商品及び製品	2,430	2,521
仕掛品	408	479
原材料及び貯蔵品	1,149	1,154
繰延税金資産	599	443
その他	285	346
貸倒引当金	△108	△107
流動資産合計	43,550	41,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,667	5,626
機械装置及び運搬具（純額）	2,964	2,968
土地	13,121	13,123
建設仮勘定	316	548
その他（純額）	946	937
有形固定資産合計	23,014	23,203
無形固定資産	404	394
投資その他の資産		
投資有価証券	8,215	7,526
繰延税金資産	38	16
その他	761	757
貸倒引当金	△79	△77
投資その他の資産合計	8,936	8,222
固定資産合計	32,354	31,821
資産合計	75,905	73,481

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,268	9,852
電子記録債務	5,892	5,729
短期借入金	2,496	1,656
1年内返済予定の長期借入金	2,090	65
未払法人税等	896	209
賞与引当金	1,127	585
その他	2,107	2,883
流動負債合計	24,879	20,982
固定負債		
長期借入金	1,045	3,033
退職給付に係る負債	723	682
役員退職慰労引当金	34	34
繰延税金負債	654	441
その他	744	738
固定負債合計	3,202	4,930
負債合計	28,082	25,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,777	2,762
利益剰余金	39,639	39,966
自己株式	△195	△196
株主資本合計	45,106	45,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,291	1,848
為替換算調整勘定	89	74
退職給付に係る調整累計額	△570	△560
その他の包括利益累計額合計	1,810	1,362
非支配株主持分	906	788
純資産合計	47,823	47,568
負債純資産合計	75,905	73,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	18,703	18,119
売上原価	13,437	12,899
売上総利益	5,266	5,219
販売費及び一般管理費	4,153	4,233
営業利益	1,112	986
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	82	85
受取手数料	35	32
その他	131	115
営業外収益合計	250	235
営業外費用		
支払利息	15	8
為替差損	—	52
その他	20	31
営業外費用合計	35	92
経常利益	1,328	1,128
特別利益		
退職給付に係る負債戻入額	—	31
特別利益合計	—	31
特別損失		
投資有価証券評価損	—	50
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	1	50
税金等調整前四半期純利益	1,326	1,110
法人税、住民税及び事業税	243	212
法人税等調整額	235	175
法人税等合計	478	388
四半期純利益	848	721
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	836	713

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	848	721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△450
為替換算調整勘定	△8	△14
退職給付に係る調整額	6	11
その他の包括利益合計	0	△454
四半期包括利益	847	267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	835	265
非支配株主に係る四半期包括利益	12	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,969	4,459	274	18,703	—	18,703
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,969	4,459	274	18,703	—	18,703
セグメント利益	1,001	313	51	1,365	△252	1,112

(注) 1 セグメント利益の調整額△252百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,631	4,344	143	18,119	—	18,119
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,631	4,344	143	18,119	—	18,119
セグメント利益又は 損失(△)	920	331	△2	1,249	△262	986

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△262百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。